



かたくい



令和2年度
第8号

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

2020. 6.5

大変だけど、貴重な体験となりました。6年生 ねぎ植え体験



6月3日に、6年生が総合的な学習の時間を利用して、ねぎ植え体験をしました。今年も畑の借用や植え方の指導は、4年生のS.Tさんの祖父S.Kさんをお願いをしました。当日は、Sさんのご家族のみなさんにも、準備から子どもたちへの指導まで、手厚いご協力をいただき、子どもたちは、安心して活動をすることができました。佐藤家のみなさん、本当にありがとうございました。



ねぎ植えに関しては、家でその様子を見ている子どももいるようでしたが、広い圃場に植えるのは初体験。ねぎ植えの道具「引っ張り君」を使っての作業は、見た目以上に大変そうでした。それ以上に大変だったのが、置いたねぎに土をかけてやること。腰をかがめての作業に苦勞をしていました。昨年度の「米作り」に続き、地域の特産物を生産することの大変さを体験することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

6年生は、自分で植えることはもちろん、友だちに手伝ったり「だし」の片付けをしたりと意欲的に取り組んでいました。きれいに植えることができた畑を見て、秋の収穫へと思いを馳せていました。



～子どもたちの日記から～

F.M さん

私は、今日、ねぎ植えをしました。「引っ張り君」で苗を植えるのがとても重くて大変でした。土をかぶせるのも大変でした。ねぎを植えるのにこんなに大変で苦勞していることが分かりました。また、カタツムリがねぎの害虫だということも分かりました。

ねぎ植えは、田植えと似ているところがありました。とても楽しくできました。みんなの手伝いも進んでやることができました。収穫したり、販売したり、なべっこで使ったりするので楽しみです。

Y.R さん

今日は、ねぎ植えをやりました。初めて植えてみて楽しかったです。私は、機械をただ引っ張るだけだと思っていました。だけど、やってみたら苗が倒れてしまい、あとから土をかけるのがすごく大変でした。でも、佐藤さんから「機械を持ち上げてやると苗が立つから、あとで土がかかりやすいよ」と教えてもらいました。実際にやってみたらうまくできました。今度やるときは、今日教えてもらったやり方でやってみたいです。

